

2/19/92 1995

おもしろ科学館



回答・奥田 一雄 高知大理学部助教

(協力＝高知大科学・技術相談室)

A 日本には美しい四季があります。人間を含めた動物はその季節に応じた暮らしをしています。動物の中には冬に冬眠するものもあります。動物以上季節に敏感なのが植物です。植物は変化を感じると移動して暑さや寒さをしのぐことが出来ますが、植物はその場所から離れられないからです。そのために植物には太陽の光や温度など、環境からの小さな信号を逃さず受け取って季節を知る仕組みがあります。

アサガオは夏の朝に元氣よく花を咲かせますね。次の年にも花を咲かせようとする、秋のうちに種を作っておくことが必要です。アサガオは、四季を通じて昼と夜の長さが変化していくことを感じて、花を咲かせる短日植物の間です。

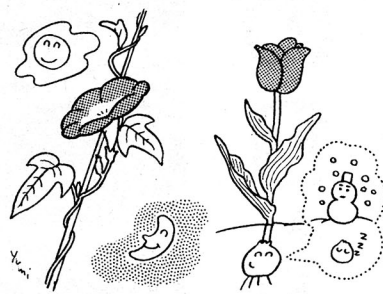
が秋だと感じた時に花を咲かせるのです。ですから、人工的に光を当てたままにして夏のような状態にしておけば、花は咲きません。キクはアサガオと同じ短日植物ですが、一年中手に入りますね。これは温室の中で光を当てる時間を

寒さの厳しいこの季節からきれいな花を咲かせアサガオが夏になってるのがチューリップです。チューリップは温度を感じることによって花を咲かせる仕組みを持っています。秋に球根を植えて、一度冬の寒さを経て、次の季節が春だと知ったときに花を咲かせ

このように、植物が花を咲かせる時期(季節)を知ることは非常に大事なことです。

季節で花が違ふのは?

Q アサガオは夏、チューリップは春などと、花が咲く季節が決まっているのはなぜですか。その季節以外には咲かないのですか。
(高知市高須小1年・大町泰子)



のです。つまり球根が厳しい冬の寒さを経験しないと、花を咲かせることはできません。しかし、この性質を利用して違う季節にチューリップの花を咲かせることは出来ます。球根を冷蔵庫に入れて、冬の寒さがどんなものかを経験させるのです。すると、夏でもあのきれいな花が咲きます。一度試してみてもどうでしょうか。花が咲くのは、メシベにオシベの花粉がついて受精し、種をつくるということですから。種ができませんければ、

環境の変化を読み咲く